

2018

Vol.34

5月10日

花水木

ハナミズキ

Kawaguchi Municipal
Medical Center



特集

患者支援センターを 開設しました

p 2 ~ p 3

目次

- p 4 KMMC Report: 地域連携推進懇話会を終えて
- p 5 KMMC Information: ピンクリボン運動の推進
- p 5 病院の取り組み: 多機能トイレを設置しました
- p 6 部署紹介: 歯科口腔外科・血液内科
- p 7 医師の交代のお知らせ
- p 8 四季の移ろい
- p 8 ミニギャラリー 3 ヶ月

川口市立医療センター
イメージキャラクター
「みみたース」



基本理念

市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します

患者支援センターを開設しました

当センターでは、患者さんやご家族が安心して入院前から退院後まで継続したサポートが受けられるよう平成30年4月1日に患者支援センターを開設しました。

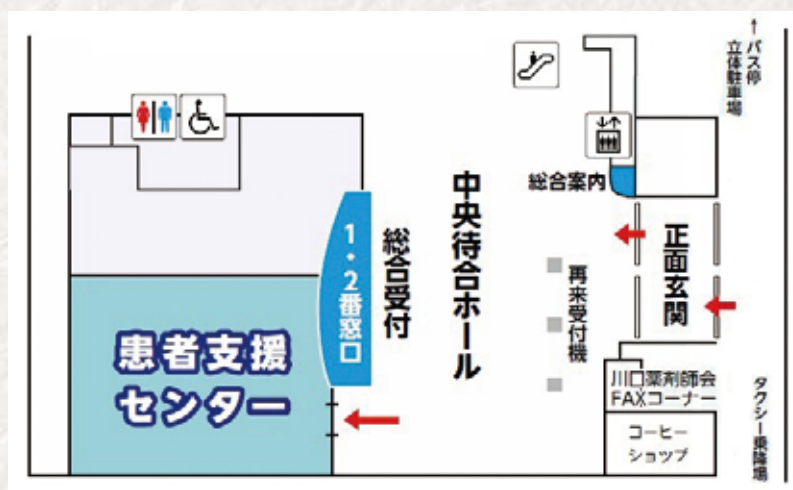
患者支援センターの開設により、今まで窓口が分かれていた入退院受付、総合相談室・がん相談支援センターを一体化して、さらに入院前から総合的に支援できるようスタッフの体制を整備しました。入院前からの支援は予定入院となる患者さんが安心して入院生活を送れるよう



うに、専従の看護師、薬剤師などの多職種が関わり、患者さんの診療を支援するものです。入院前から看護師が患者さんと面談するからこそ見えてくる身体的、社会的課題や患者さんの不安に対し細やかに対応することで、安心して治療を受けていただけるよう配慮することができます。現在は泌尿器科手術の患者さんを対象にスタートしていますが、今後は改善を重ね、対応できる診療科を増やしていく予定です。

患者支援センターのスタッフは、事務職、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、地域連携担当者といった多職種で構成されています。患者さんの相談内容に合わせ担当者を決め支援させていただきますので、入院、外来を問わず不安なことやわからないことがあればお気軽にお声がけください。

患者支援センター案内図



受付時間

月～金曜日 8:30 ～ 17:00

土曜日（第1・3・5） 8:30 ～ 13:00

患者支援センターの業務内容

1. 入退院センター

- ・入退院受付（事務）※従来の入退院受付が移動しました。
入院の受付、入院中のことに関する診断書の受付等入退院に関する手続きを支援します。
- ・予約入院患者さんの面談及び支援（看護師）
※現在は泌尿器科手術の患者さんのみ対象
- ・薬剤管理（薬剤師）
入院前に手術や検査のために中止しなければならないお薬を確認し安全に手術・検査が受けられるよう支援します。
- ・院内処方
検査用のお薬、院外処方できない特殊治療薬をご説明の上でお渡しします。

2. がん相談支援センター

- ・がんについての相談
- ・がんのセカンドオピニオンについての相談
- ・がん心理相談（臨床心理士）

3. 医療福祉相談

不安や心配事など様々な課題を、ソーシャルワーカーや看護師が患者さんやご家族とともに考え、解決のお手伝いをします。

- ・家庭での医療や介護についての情報提供と調整
- ・介護保険についての説明やサービス調整への支援
- ・転院先や入所施設について情報提供
- ・医療費や生活費についての相談
- ・障害手帳や福祉制度についての情報提供

4. 地域連携

- ・かかりつけ医からの診療情報提供書をお持ちの方の外来診療予約
- ・近隣医療機関、かかりつけ医の情報提供
- ・近隣病院・クリニックの先生方からの診療の受け入れ調整



地域連携推進懇話会を終えて

第14回地域連携推進懇話会を平成30年2月22日午後7時から、キューポ・ラ4階フレンディアで地域の診療所・病院の先生方、地域の関係機関（介護・福祉・保健所・行政機関等）の皆様のご出席をいただき無事開催することができました。地域連携推進懇話会は医療機関と地域が顔の見える関係を作り情報共有することで、患者さんが地域で安心して療養できる仕組

みをつくるために始まった会です。今までは当センターの3階講堂で開催していましたが、今回は当センターが4月1日より地域医療支援病院として新たなスタートを切ることとなり、より多くの先生方と交流しやすい会場ということで院外での開催となりました。

ご出席いただいた皆様からは、在宅医療との連携強化、救急車を断らない、薬局との情報共有の強化などご意見をいただきました。また、地域医療支援病院としてよりハイリスクな手術患者の受け入れもしてほしいとの要望をいただきました。今までの地域連携推進懇話会では講演・勉強会が主で交流する時間が短かったのですが、今回は交流する時間を主にしたことで当院の医師と地域の先生方で多くの意見交換ができました。

地域の中核病院として今まで以上に院内での協力体制も強化し、地域と連携し市民の皆様が安心して生活できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



ピンクリボン運動の推進 ～ピンクリボンピンバッジを作成しました～



ピンクリボン運動をご存じでしょうか？ピンクリボン運動とは、乳がんについての正しい知識を多くの人に知ってもらい、乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守る運動です。

乳がんに関しての社会的な認知度は高く、特に近年では、芸能人の方々が乳がんになったと公表されたことで、メディアで報じられることが多くなりました。

また、近年では『高濃度乳房』という言葉を目にした方も多いのではないかと思います。高濃度乳房とは、病気ではなく、乳腺の密度が高いことをいいます。現在、自治体健診では原則となっている乳がんの検診法であるマンモグラフィー（乳房エックス線撮影）では、乳腺の密度が高いほど白く写り、同じく白く写る乳がんを見つけにくいという欠点があり、どう対処すべきか議論が進んでいます。アメリカでは、すでに31州が高濃度乳房の告知を州法で定めています。

当センターでは、手術やリハビリ等についての患者さんへの術前説明をよりわかりやすく、効率的に行うことができるよう多職種間で会議を重ねてきました。その会議の中で、患者さんへの啓発や当センターでの士気向上をはかるため、当センター独自のピンクリボンピンバッジを作成しました。職員が業務中に装着している他、患者さんへの配布も行いました。

乳がんは、早期に発見できれば命を救うことができる可能性が高いことが特徴です。ピンクリボン運動についてより多くの皆様に知っていただき、ご賛同いただけたら幸いです。

病院の取り組み

多機能トイレを設置しました

ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、1階に多機能トイレを設置しました。車椅子対応トイレに加え、オストメイト対応設備、お子様のおむつ替えシートやベビーチェア、成人用おむつ交換が可能なユニバーサルシート、洋服を着替えられる収納式着替え台を備えております。是非ご利用ください。



部署紹介

歯科口腔外科



歯科口腔外科では、口の中、顎、口唇、頸部などの疾患、けがを主に診療しております。

う蝕や義歯などの一般歯科および矯正歯科以外の内容を受け持つ特殊な診療科です。

具体的には

- ①難抜歯（親知らず、埋伏過剰歯など）
- ②有病者（抗凝固剤など内服中）の抜歯など
- ③菌性感染症（歯が原因で顔、頸部、副鼻腔などまで化膿してしまうこと）
- ④外傷（顎骨骨折、口のけが）
- ⑤顎骨の腫瘍、嚢胞（顎骨嚢胞など）
- ⑥口腔内、口唇の疾患（粘液嚢胞など）
- ⑦唾石症、がま腫などの唾液腺疾患
- ⑧粘膜疾患（口内炎、口腔白板症など）
- ⑨全身疾患（シェーグレン症候群など）の口腔検査などです。

当科の特徴

- ①親知らず抜歯の手術は、年間3000本近く経験しているため、短時間、確実です。
- ②重篤な菌性感染症は、即日中に、造影CT検査、膿瘍切開、入院と迅速に対応。
- ③顎骨骨折は、手術必要の有無の的確な診断。手術は現在まで360例ほど経験、短期入院、口腔内切開で傷を残さず、正確な咬合の回復。
- ④顎骨嚢胞で巨大なものは、開窓療法にて、できるかぎり顎骨を保存。
- ⑤唾石症で深く頸部切開していたものは、なるべく口腔内切開にて摘出。以上、我々は、常に患者さんの身になり、低侵襲、迅速、的確な診療をこころがけております。

血液内科



血液疾患というと、どのような病気を想像しますか？聞き慣れないせいもあって、縁遠い病気のように感じがちです。有名なのは、白血病でしょうか。貧血もあります。最近、悪性リンパ腫という名前も新聞などで見かけるようになりました。高齢化社会の到来とともに、血液疾患、とくに悪性リンパ腫や多発性骨髄腫や骨髄異形成症候群といった血液がんは増加しています。これまで若年者の疾患というイメージの強かった血液がんですが、高齢者の疾患として対応を考えなければいけない時代になりつつあるのです。血液内科はどの病院にでもあるわけではありません。血液内科医が不在の病院も珍しくないのが現状です。そのような中で血液がんの患者さんの診療を行うのは地域がん診療連携拠点病院の重要な役目であると考えます。

現代の血液がん治療は、外来治療が中心です。入院治療の後で、通常、外来治療に移行します。定期的な通院が必要であることを考えると、病院が自宅の近隣にあることは大変重要です。本院が市立病院で市民の自宅近くに位置しているということは、患者さんにとって大変大きな利点なのです。スタッフの数は決して多くはありませんが、多職種連携を密にし、迅速に対応します。そして世界標準の治療を行います。移植医療が必要であれば、大学病院を中心とした医療施設と連携して診療を行います。

医師の交代のお知らせ

新 任



カネコ ケイジ
金子 桂士
4月1日付
消化器内科

親身になって最善を尽くします。宜しく願い致します。



ナガオ リク
長尾 陸
4月1日付
血液内科

患者さんの「心の声」を大切に
にした診療がモットーです。



マルモト ヒロカズ
丸本 裕和
4月1日付
腎臓内科

ご指導よろしくお願い致します。



タニザワ ミカ
谷澤 美佳
4月1日付
糖尿病内分泌内科

患者さんに寄り添う診療を目指します。



クラウチ ヨウスケ
倉内 洋輔
4月1日付
糖尿病内分泌内科

内科医として頑張ります。宜しく
お願い致します。



セイ ケンシ
成 健史
4月1日付
小児科 医長

こども病院での経験をいかして
頑張ります。



フカマ エイスケ
深間 英輔
4月1日付
小児科

小児科医として2年目になり
ます。よろしくお願いします。



カナフサ ユウヒ
金房 雄飛
4月1日付
小児科

精一杯頑張ります。よろしく
お願い致します。



カツヤ キョウコ
勝屋 恭子
4月1日付
NICU 科

赤ちゃん、ご家族のため頑張
りますのでお願いします。



フジタ ハナコ
藤田 華子
4月1日付
NICU 科

川口の周産期医療に尽力でき
るように頑張ります。



カネコ チナツ
金子 千夏
4月1日付
NICU 科

一生懸命頑張ります！よろし
くお願いします。



モリ フミ
森 史
4月1日付
脳神経外科

一生懸命頑張りますので、よ
ろしくお願いします。



イナガキ リュウタ
稲垣 隆太
4月1日付
整形外科

何でも御相談下さい。一緒に
治療していきましょう。



ツチハシ ノブユキ
土橋 信之
4月1日付
整形外科

4月から新任となりました。
よろしくお願いします。



サカイ エイタ
坂井 映太
4月1日付
整形外科

良き臨床医として日々精進し
ていきたいと思ひます。



イチカワ ゴウ
市川 剛
4月1日付
産婦人科 医長

十数年ぶりにもどって来まし
た。宜しくお願いします。



ヤナ マリコ
築 麻理子
4月1日付
眼科

一生懸命がんばりますのでよ
ろしくお願いします。



イエサキ シュリ
家崎 朱梨
4月1日付
泌尿器科

患者さん中心の寄り添う診療
ができるように努力します。



ヤマモト ユースケ
山本 悠介
4月1日付
麻酔科

川口市の地域医療に貢献でき
るよう頑張ります。

退 任

服部 大樹
3月31日付
血液内科

佐々木峻也
3月31日付
腎臓内科

浮地里佳子
3月31日付
糖尿病内分泌内科

澤木 千絵
3月31日付
糖尿病内分泌内科

寺内真理子
3月31日付
小児科 医長

我有 茉希
3月31日付
小児科

武藤 由美
3月31日付
小児科

勝碕 静香
3月31日付
NICU 科

齋藤 洋子
3月31日付
NICU 科

下山 輝義
3月31日付
NICU 科

花島 裕也
3月31日付
脳神経外科

宮方 啓行
3月31日付
整形外科 医長

大島 洋平
3月31日付
整形外科

竹迫 久享
3月31日付
整形外科

庄司果野子
3月31日付
産婦人科

浦本 賢吾
3月31日付
眼科

佐藤 真紀
4月30日付
呼吸器内科 副部長

四季の移ろい

5月といえば

5月といえば“目に青葉 山ほととぎす 初鰯”と江戸時代の山口素堂の俳句にも詠まれているように、目にも鮮やかな青葉や甲高い鳴き声のほととぎす、そして食べて美味しい初鰯の季節です。病院横のグリーンセンターも目に眩しいほど緑が映えます。そして、木々の間を抜ける風も爽やかで、おだやかな陽射しと相まって清々しい気持ちになります。また、ほととぎすは“キョッキョッキョッキョッキョ”と聞こえる？ 声で鳴きます。春のウグイスの鳴き声は有名ですが、ほととぎすの鳴き声はなかなか想起できません。一方、初鰯はこの時季に太平洋をのぼる“のぼり鰯”を指します。鰯は回遊魚のため、この“のぼり鰯”と秋頃下りてくる“戻り鰯”が旬ですが、初夏の鰯はさっぱりとした味わいで、戻り鰯は脂ののった味わいになりま

す。

5月は平均気温が20℃前後、平均湿度も65%前後、平均日照時間も200時間前後なので、ピクニックや散歩に格好の季節だと思います。僕自身広い公園などで簡易式のテントやシートを持参して、弁当を食べたり、本を読んだり、ワンコと昼寝したり、何をするでもなく、のんびり時間を過ごすことで、心身ともにリラックスできます。特に新しい環境に馴染むのが苦手な“5月病”に悩む方は、自然の中で緑を目にしたり、鳥の声を聞いたり、美味しいものを食べたりすることが症状の緩和に役に立つかもしれません。みなさんも是非この時季に楽しんでみてはいかがでしょうか？ （た）



ミニギャラリー3ヵ月

「石橋博子展 ～続・愛おしい生き物たちと風景と～」では、よく見かけるたくさんの風景や生き物たちが可愛らしく優しいタッチで描かれ、見る人の心を癒してくれました。

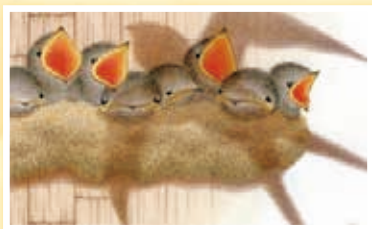
「つまみ絵展」では、薄絹とピンセットを使用して、立体感のある絵画のように表現していく伝統手芸であるつまみ絵が展示され、多くのかたがじっくりと鑑賞していました。

「浜田澄子展」では、美しい色彩や、光を感じさせる技術的な仕掛けがされている“四角い宝石”の作品たちが、見る人を豊かで幸せな気持ちにさせてくれました。

どの展示においても、ご覧になったかたから「元気になりました」「心に残りました」など、たくさんの感想をいただきました。

ミニギャラリーは、1階中央通路と、地下1階総合健診センター前で開催していますので、来院された際はどうぞご覧ください。また、ホームページで過去の展示もご覧いただけます。

◆石橋博子展 ～続・愛おしい生き物たちと風景と～(2月)◆



◆つまみ絵展 (3月)◆



◆浜田澄子展 (4月)◆



編集後記

先般、院内のメッセージボックスで、この広報紙「花水木」について、お褒めのお言葉を頂戴しました。私がこの広報紙作成に携わってから、初めて頂いたご意見でしたので、非常に嬉しく思いました。この花水木は、皆様からのご意見を頂戴することにより、より良い広報紙になると思います。いろいろなご意見頂戴したく存じます。これから気温も高くなってきますので、体調を崩されませんようご自愛ください。

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180

☎048-287-2525(代表)

HP <http://kawaguchi-mm.org>